

## 遠野市「遠野市における人口ビジョンおよび総合戦略の策定」

研究代表者：山本 健（総合政策学部）、研究チーム員：佐々木真紀子（遠野市）

### <要 旨>

本研究では、遠野市における人口ビジョンおよび総合戦略の策定に当たり助言を行うために実施した、県内外における先進事例の調査を広く行った。学会、セミナー、シンポジウム、実地調査による情報収集、まち・ひと・しごと創生本部が主催するフォーラムへの参加を通じ「地域経済分析システム」の活用事例調査、参加者間での意見・情報交換等を行った。

### 1 研究の概要（背景・目的等）

遠野市の総人口は昭和30年のピーク時には47,110人だったのが、平成22年の国勢調査の時点で29,331人となっており60年間にわたって減少の一途をたどっている。遠野市の合計特殊出生率は1.90となっているが、平均人口規模が長期的に維持される水準には届いていない。さらに転出により女性人口が減少しているため、出生数の増加に結びついていない。基盤産業の農林業が後継者不足等により縮小している。

人口減少や生産人口の減少による社会生活サービスの低下がさらなる人口流出を招くという「負のスパイラル」を防止するためにも、人口減少の抑制、人口構造の若返りに取り組む必要性が求められ、以下4つの基本戦略のもとで5つの重点プロジェクトからなる総合戦略が策定された。

#### 4つの基本戦略

- ・地域資源を生かした雇用の創出
- ・観光から交流、そして定住へ
- ・子育て支援の推進
- ・健康寿命の延伸

#### 5つの重点プロジェクト

- ・雇用確保のための内発型・外発型商工業の振興
- ・タフな農林畜産業の6次産業化と新たな仕事の創出
- ・観光振興と交流人口の拡大による「で・くらす遠野」定住の促進
- ・「子育てするなら遠野」の推進
- ・高齢者の自立と社会参加の促進

### 2 研究の内容（方法・経過等）

研究方法は、事例研究ならびにワークショップへの参加という形態によって実施した。

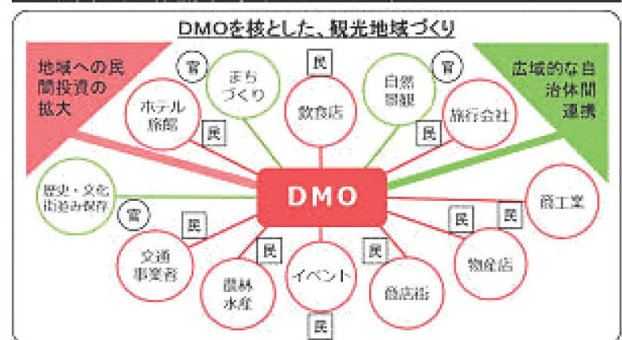
### 3 これまで得られた研究の成果

本研究において得られた成果の主なものは下記の通りである。

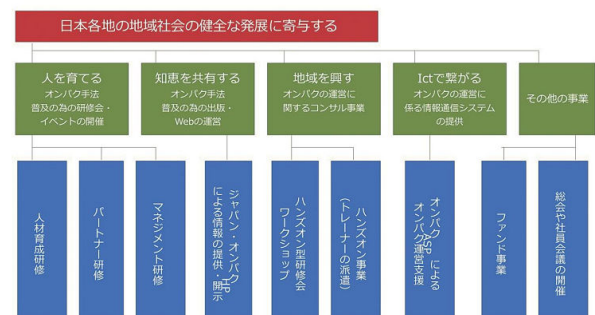
- ・RESAS（地域経済分析システム）の活用事例  
人口ビジョン、総合戦略策定への資料作り

- ・日本版DMO、オンパクによる体験交流プログラムへの取組

交流人口拡大の具体策の提案



一般社団法人ジャパン・オンパク 事業ロジックモデル



### 4 今後の具体的な展開

今後は、研究成果や研究を通じて学んだ手法を、論文やポスター発表等の機会を通じて、広く県民に対して公開したり、学内における教材としても利活用していると考えている。